



14期

関西ぶらり散策

9月30日(水)



大津城、宿場町大津宿を歩く「+膳所 義仲寺」

2班担当

9月30日(水)9時50分に、JR膳所駅に集合して、班ごとにガイドさんの案内で出発しました。昨日の雨がウソのような天気となり、暑くもなく快適に散策することが出来ました。

ときめき坂



膳所の街歩きは、ときめき坂から始まります。駅から琵琶湖へと続く坂道です。かつては百貨店もあり「滋賀の竹下通り」と呼ばれ賑わいました。



2024年本屋大賞受賞した小説「成瀬は天下を取りに行く」では、膳所の街が舞台となり、ときめき坂は実存する坂として、話題になりました。

義仲寺(ぎちゅうじ) 国指定史跡

平安時代末期に、この地で死を遂げた木曾義仲を側室であった巴御前が供養したことに由来したお寺です。

木曾義仲を敬愛していた松尾芭蕉は、大阪で逝去した時、生前の遺言により亡骸を弟子たちに運ばせて、ここに墓を作りました。

境内には巴御前の塚も残されています。



木曾義仲公の墓



松尾芭蕉翁の墓

天孫神社



平安時代の創建と伝えられています。四宮神社とも呼ばれ、4柱の神様が祀られています。毎年10月に行われる「大津祭」はこの神社の例祭で、湖国三大祭のひとつとして知られています。



大津祭曳山展示館



湖国三大祭りの一つ大津祭をテーマにした展示館。大津祭は、江戸初期に創始されたといわれており、13基の曳山が、それぞれコンチキチンのお囃子にあわせ、各山のテーマに応じたからくりを披露します。

展示館では原寸大の曳山の模型をはじめ、映像での大津祭の紹介も行っており、いつでも大津祭の賑わいと楽しさを体感することができます。



平井商店

平井商店は、江戸時代初期1658年に創業した老舗の酒蔵です。「浅茅生（あさぢを）」は、1677年に後水尾天皇の皇子、聖護院宮道親王から賜った和歌にちなんで名付けられた代表銘柄です。



大津城跡

大津城は、豊臣秀吉の命で浅野長吉により、天正14年（1586年）頃に築されましたが、現在、城郭は残っておらず、城郭碑が立っているあたりが、本丸の跡と考えられています。



街中に残っている大津城の石垣



古都おおつボランティアガイドの皆様、ありがとうございました。